



自然災害の猛威

台風3号の接近、九州北部の大雨と、先週は自然の猛威に恐怖を感じた1週間でした。幸いにも、東彼杵町には被害はなく、普段と同じように生活できたことは本当にありがたかったです。しかしながら、このたびの大雨の分布をみると、県内では壱岐や佐賀県の武雄市でも大きな被害が起きており、紙一重のところ被害にあわなかっただけだと思います。いつ、どこで自然災害が発生するか分からない時代です。対岸の火事ととらえず、「もし」「万が一」の気持ちで、日頃から家族で話題にしたり、避難場所を確認したりといった備えが必要だと、改めて感じました。



楽しいふれあいの時間を過ごすことができました！ ～ふれあいコンサート・ふれあい集会～

「彼杵っ子の心を見つめる教育週間」に合わせ、学校では2つの「ふれあい」行事を行いました。

☆ふれあいコンサート(6月28日)

原 さとみさん(ソプラノ)、亀子政孝さん(コントラバス)、高橋佳理さん(ピアノ)、松浦知佳さん(バイオリン)の4人の演奏家によるコンサートでした。おなじみの「となりのトトロ」「君をのせて」等、ジブリ映画のアニメソングを児童と一緒に歌ったり、楽器の紹介を兼ねてワルツやタンゴの曲を演奏したりと、趣向を凝らした、とても楽しいコンサートでした。CDやオーディオプレイヤー等のデジタル音源に慣れた私たちにとって、楽器の生音はとて新鮮で優しく、ずっと心の中に入って来る心地よさを感じました。終わった後、心の洗濯をしたようなすっきりとしたいい気分になりました。



☆ふれあい集会(6月29日)



100名を超える地域老人会の皆様が来校され、全校児童とふれあい集会を行いました。ねらいは、「お年寄りの知恵や技術を学び、遊びやスポーツなどの体験を通してふれあうことで、お年寄りに対する尊敬と感謝の気持ちを育てる」ことです。毎年子どもたちが大変楽しみにしています。開会行事では、子どもたちが歌を歌ったり、茶摘みの曲に合わせて、子どもとお年寄りで手遊びをしたりしました。その後は昔遊びやおもちゃ作り、お菓子作りなどの13グループに分かれ、お年寄りと一緒に楽しむことができました。

お年寄りが、竹馬や竹トンボ、お手玉等のおもちゃをとて器用に作ったり、手際よく料理を作ったりされる様子に、終始子どもたちは感心していました。昔取った杵柄(きねづか)、何年たっても知恵と技術は健在です。すばらしいですね。



2つのふれあい行事を通して、「良い音楽にふれる」「人とふれあう」楽しさ、心地よさを体験することができました。演奏家の皆様、各地区老人会の皆様、お忙しい中、本当にありがとうございました。